

# 大学等における修学の支援に関する法律による 授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書

A様式2

記入例

20X0年 ○ 月 ○ 日

函館大谷短期大学 学長 殿

提出日を記入してください。

私は貴学（貴校）に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料減免の継続を申請します。

申請にあたって、私は

全ての欄は、必ず自署で黒色ボール  
ペンで記入してください。  
※消せるペンは不可です。

事実と相違があった場合、  
おいて減免を受けた金額の

- ◆ この申請書の記載内容が事実と相違があった場合、認定を取り消され、授業料等減免の支払を求められる場合があります。

- ◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、函館大谷短期大学が機構の保有する私の給付型奨学金に関する情報の送付を受けると及び機構が函館大谷短期大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（\*を付した項目については、該当者のみ記入すること。）

申請者	フリガナ	オオタニ タロウ		入学年月	20XX年4月入学	
	氏名	大谷 太郎				
	生年月日	(西暦)	20**年	*月	*日生 (●●歳)	
	現住所	〒○○○ - ○○○○ 北海道 函館市 鍛冶○丁目○番○号				
	所属学部・学科等	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ総合学科 <input type="checkbox"/> こども学科		学籍番号	○○○○○○	
	学年	○	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 昼（昼夜開講を含む） <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信		
	日本学生支援機構の給付型奨学金に関する情報					
	給付奨学金の奨学生番号	○○○○○○○○○○○○				

- ※ 日本学生支援機構の給付型奨学金を併せて受けていただくことが基本です。「日本学生支援機構の給付型奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、別紙を必ず提出してください。
- ※ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。
- ※ 給付型奨学金を受給しておらず、「機構の給付型奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、(別紙1)の提出(年1回)が必要です。家計急変による事由の場合は、(別紙1)に代えて(別紙2)の提出が必要です。(給付型奨学金をあわせて受給している場合は、別紙1、2の提出は不要です。)